

学校教育目標の具現化に向けて

- ① 教職員の人権教育→「人権感覚」を磨き続ける教職員と児童
 - (1) 誰も排除されず、それぞれの違いを活かしながら自分事として学校運営・学級経営に参画する。
 - (2) 自己と他者の理解（傾聴・受容・思いやり）を深め、安心感のある学級経営を目指す。
- ② 校内研究→夢中になる授業づくりを通じた「分からない」と向き合う教職員と児童
 - (1) 『「思わず対話 深まる学び」～たのしく！いつでも！わたしから！』を目標とし、授業実践を通して対話力を育成する。
 - (2) 習得した知識・技能を活用し、言語活動（話す・読む・聞く・書く）を重視した授業の展開を工夫する。
- ③ 実態把握→子どもの置かれた状況を把握し、将来を見据えた目標と展望を持つ教職員と児童
 - (1) 子どもの背景にまで踏み込んだ児童理解を深め、受容・共感の姿勢で子どもとの関わりを深める。
 - (2) 日々の細かな観察と情報共有を通して、子どもの困りに寄り添い続ける。
- ④ 生徒指導→共感的な人間関係を基盤にした温かな関わりのある教職員と児童
 - (1) 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を徹底する。
 - (2) 児童虐待の防止のため、児童の生活背景の把握と細かな観察を励行する。
- ⑤ 環境整備→安心・安全な環境を整備し、学びに向かう環境づくりを大切にする教職員と児童
 - (1) 望ましい学校環境を維持するため、美化活動・清掃活動に進んで取り組み続ける。
 - (2) リスク・マネジメント、クライシス・マネジメントを組織的に共有し、迅速な初期対応を行う。
- ⑥ 学級経営→心の拠り所のある居心地の良い学級づくりを通して、高め合う教職員と児童
 - (1) 「何でも言える雰囲気」を基に、間違いを認め合う心理的安全性を確保した学校運営・学級経営を行う。
 - (2) 自分の存在が誰かの役に立っていると感じられる活動を取入れ、自己有用感を育む。
- ⑦ 啓発活動→保護者・地域と共にすべての教育活動に輪と和を大切にする教職員と児童
 - (1) 家庭との連携を強め、食事・運動・睡眠の調和の取れた生活実践をめざす。
 - (2) 地域の知恵や人材を活かして「社会に開かれた教育」を実践し、地域と学校とが双方向で連携を深める。
- ⑧ 経験拡充→将来を見据えた「夢」を語る教職員と児童
 - (1) 縦割り活動等、児童会活動を充実させ、リーダーシップ、自分や他人を思いやる心を育てる。
 - (2) 社会の一員としての自覚を持たせるとともに、人のために尽すことの喜び等の奉仕の精神を養う。
- ⑨ 連携→多様な立場の中で自立と自律を目指す教職員と児童
 - (1) ひとりひとりの育ちを理解・共有し、安心した環境へ円滑に移行できるよう各機関と連携を密にする。
 - (2) 9年間の公教育の系統性をもとに、中学校ブロックで連携した取組を構築する。
- ⑩ 校内教育活動の充実→すべての教育活動が学校教育目標に向かうことを基軸にした教育実践を積み重ねる教職員と児童
 - (1) 「すべての教育活動が人権教育である」という信念のもと、子ども達ひとりひとりに徹底的に寄り添い続ける。
 - (2) 学習規律を確立し、「わかる・できる」喜びを実感できる、学ぶ楽しさを味わう学校生活を創造する。



**KADONO
DEVELOPMENT**

GOALS



TEAM KaDoNo 48

Keystone:「ひとりひとりが要」になり、
Devotion:「ひとりひとりの愛情」をもって
Navigation:Teamで切り開く

① エンジン

【人権感覚の高まり】



② 右前輪

【自ら学ぶ意欲の高揚】



③ 右後輪

【自分自身の課題設定】



④ 左前輪

【共感的人間関係の構築】



⑤ インテリア

【学習環境づくり】



⑥ ガソリン

【安心安全な学級】



⑦ ガソリン

【保護者・地域の拠り所】



⑧ ガソリン

【将来展望学習の展開】



⑨ 左後輪

【キャリア教育の充実】



⑩ ボディ

【学校教育の底上げ】



生徒指導の4つの視点と共有

- (1) 自己存在感の感受・・・・・・・・①③
- (2) 共感的な人間関係の育成・・・・④⑥⑩
- (3) 自己決定の場の提供・・・・・・・・②⑧
- (4) 安全・安心な風土の醸成・・・・⑤⑦⑨